

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地			
日本工学院八王子専門学校		昭和62年3月27日	千葉 茂		〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404番地1他 (電話) 042-637-3111			
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地			
学校法人片柳学園		平成25年3月1日	片柳 鴻		〒144-8650 東京都大田区西蒲田5丁目23番22号 (電話) 03-3732-1111			
目的	音楽・音響ソフトに関する専門知識、技術を学び、映像・音響ソフト産業のコンテンツ制作で幅広く活躍できるサウンドエンジニアを養成する。							
分野	課程名		学科名		専門士		高度専門士	
文化・教養	芸術専門課程		レコーディングクリエイター科		平成9年文部科学大臣 告示号外第229号		-	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技	
2年	昼間	1725	1170	0	1350	0	0	
生徒総定員		生徒実員		専任教員数		兼任教員数		総教員数
160人		113人		3人		14人		17人
学期制度	前期: 4月1日～9月30日 後期: 10月1日～3月31日		成績評価		成績表: 有 成績評価の基準・方法 授業日数の4分の3以上出席し試験を受験する。 S:90点以上 A:80～90点 B:70～79点 C:60～69点 D:59点以下は不合格 P:単位認定			
長期休み	学年始: 4月1日～ 夏季: 8月1日～8月31日 冬季: 12月23日～1月9日 学年末: 3月21日～3月31日		卒業・進級条件		進級要件 ①各学年の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること 卒業要件 ①卒業年次の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること			
生徒指導	クラス担任制: 有 長期欠席者への指導等の対応 当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。		課外活動		課外活動の種類 卒業作品展、ボランティア活動、体育祭、学園祭 サークル活動: 有			
就職等の状況	主な就職先、業界等 株式会社アンサーズ 株式会社サンフォニックス 株式会社SUTUDIO MAUSU ソニーPCL株式会社 株式会社テクニコ 就職率^{※1}: 84.6 % 卒業者に占める就職者の割合^{※2}: 73.8 % その他 大学編入他 (平成27年度卒業者に関する平成28年5月1日時点の情報)		主な資格・検定等		ビジネス能力検定(B検)ジョブパス 舞台機構調整技能士 JAPRS サウンドレコーディング技術認定試験 JAPRS ProTools技術認定試験 JPPA 映像音響処理技術者資格認定試験 Avid認定 ProTools101、110、201、210M、210P			
中途退学の現状	中途退学者 5名 平成27年4月1日時点において 在学者 123名 平成28年3月31日時点において 在学者 118名 中途退学の主な理由 進路変更、経済的理由 中退防止のための取組 担任と科長による面談。懇談会・電話連絡等による保護者との情報共有。 担任による指導の他、経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてはカウンセリングルーム等を設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。		中退率		4.1 % (平成27年4月1日入学者を含む) (平成28年3月31日卒業者を含む)			
ホームページ	http://www.neec.ac.jp/							

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
レコーディング分野に関し、適宜、企業等へのヒアリングを実施し、実務に関する知識、技術を調査して、カリキュラムに反映させる。またレコーディング分野に関し、年度毎に既存のカリキュラムについて総合的に検証する。授業科目のシラバスをもとに、科目担当教員と企業講師との間で意見交換を行い、内容や評価方法を定める。また、学習評価を踏まえ、授業内容及び方法について検証する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け
教育課程編成委員会は、学校長を委員長とし、副校長、学科責任者、教育・学生支援部員、学科から委嘱された業界団体及び企業関係者から各3名以上を委員として構成する。
本委員会は、産学連携による学科カリキュラム、本学生に対する講義科目および演習、実習、インターンシップおよび学内または学外研修、進級・卒業審査等に関する事項、自己点検・評価に関する事項、その他、企業・業界団体等が必要とする教育内容について審議する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成28年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
今泉 裕人	一般社団法人コンサートプロモーターズ協会	H28.4.1～H29.3.31	①
菅原 恭史	株式会社フリーマーケット	H28.4.1～H29.3.31	③
吉田 秀明	株式会社東北新社	H28.4.1～H29.3.31	③
山野 大星	日本工学院八王子専門学校 副校長	H28.4.1～H29.3.31	
遠山 一明	日本工学院八王子専門学校 カレッジ長	H28.4.1～H29.3.31	
朝比奈 孝浩	日本工学院八王子専門学校 科長	H28.4.1～H29.3.31	
杉山 直樹	日本工学院八王子専門学校 主任	H28.4.1～H29.3.31	
荒井 哲子	日本工学院八王子専門学校 教育・学生支援部 課長	H28.4.1～H29.3.31	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年2回、3月、9月

(開催日時)

第1回 平成28年3月22日 13:00～14:30

第2回 平成28年9月8日 11:00～12:30

(5)教育課程の編成への等の意見の活用状況

授業計画立案時に教育課程編成委員会の内容をベースに活用した。主に演習授業において基礎力の向上を目指し、実験等を取り入れた授業を展開した。それ以外にも実機を教室に持ちこんでのリアルな授業を展開した。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

レコーディング分野に関し、適宜、企業等へのヒアリングを実施し、実務に関する知識、技術を調査して、カリキュラムに反映させる。またレコーディング分野に関し、年度毎に既存のカリキュラムについて総合的に検証する。授業科目のシラバスをもとに、科目担当教員と企業講師との間で意見交換を行い、内容や評価方法を定める。また、学習評価を踏まえ、授業内容及び方法について検証する。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

連携企業からの意見等を参考にし、音楽録音の仕組みや新技術などの技術提供を基にした実習へのフィードバックを行い、次年度のカリキュラムに反映させている。演習などの授業内容を映像化し、委員に見てもらいながら検証を行い、改善点などをフィードバックしてもらう。

(3)具体的な連携の例

科目名	科目概要	連携企業等
ミュージックソフトプロダクト1	レコーディング・MA・ラジオ等のスタジオワークに必要な、各種機材の基礎知識、基本となる作業、挨拶を含めた各種マナー等を学ぶ。	ミキサーズラボ
ミュージックソフトプロダクト2	【レコーディングエンジニア専攻】 楽器へのマイクセッティング、SSLのレコーディングモード、エフェクター(コンプレッサー、ゲート、イコライザー、リバーブなど)の実習やPro Toolsを使用したレコーディング、Pro Toolsのオペレート、エディット、バンドレコーディング(練習、本番)、バンドレコーディングミキシング実習 【MAエンジニア専攻】 ミキサーの基本操作、Pro Toolsを使用した収録、Pro Toolsのオペレート。基本操作、エディット、映像に対するオペレート。エフェクターの基本操作、効果的な使用方法。MAにおけるスタジオワーク、マイクセッティング、映像の取り込み、ナレーション収録など。TV CM制作、CMの企画、絵コンテ制作、映像編集、サウンドデザイン、MA、試写会、評価を行う。 【ラジオミキサー専攻】 ミキサーの基本操作、マイクセッティング、Pro Toolsによる収録、エディット、Pro Toolsのオペレート。 Pro Toolsによるラジオ番組制作、番組の企画、台本制作、スタジオ収録、ポータブルミキサーの操作を行う。	ミキサーズラボ

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針
 講義と実習、演習の精度を高めるため、学科関連企業の協力のもと、企業等連携研修に関する規定における目的に沿い、学科の内容や教員のスキルに合わせた最新の技術力と技能、人間力を修得する。また、学校全体の教員研修を実施することにより、学生指導力の向上を図り、次年度へのカリキュラムや学科運営に反映させる。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

平成27年10月5日(月) 10:00~12:00 蒲田キャンパスにて

日本スタジオ協会 会長 高田氏を招いて「今後のこの業界における展望と求められる人材について」

今後の音楽ビジネス産業の中、音響を取り巻く環境と、歴史から推測する今後の展望について講義を頂き、その後教員と意見交換を行った。

② 指導力の修得・向上のための研修等

平成28年3月31日 10:00~16:00 蒲田キャンパスにてミュージックカレッジ教員を対象に開催。株式会社ホットスタッフ・プロモーション 高村信太氏講演。音楽業界のCD/DVDと音楽配信の売上推移などの最新の傾向を分析して紹介。今後学校教育で求められる知識・技術・機材の提案をいただいた。平成28年度に向けて方針を検討し改善点を確認した。

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

平成28年9月29日(木) 蒲田キャンパスにて株式会社IMAGICAのミキシングエンジニアの井上氏を招いての教員向け研修会「今後のMA業界について」を開催。

特に今後の映像と音の業界の構図や若い人材に何が必要になるかといった講義行っていただき、その後教員を交えての討論会を行い、今後に向けての方針を検討し、改善点を確認した。

② 指導力の修得・向上のための研修等

平成29年3月 蒲田キャンパスにて教員を対象に開催

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

専修学校における学校評価ガイドラインに沿っておこなうことを基本とし、自己評価の評価結果について、学校外の関係者による評価を行い、客観性や透明性を高める。

学校関係者評価委員会として卒業生や地域住民、高等学校教諭、専攻分野の関係団体の関係者等で学校関係者評価委員会を設置し、当該専攻分野における関係団体においては、実務に関する知見を生かして、教育目標や教育環境等について評価し、その評価結果を次年度の教育活動の改善の参考とし学校全体の専門性や指導力向上を図る。また、学校関係者への理解促進や連携協力により学校評価による改善策などを通じ、学校運営の改善の参考とする

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	(1) 理念・目的・育人人材像
(2) 学校運営	(2) 運営方針(3) 事業計画(4) 運営組織(5) 人事・給与制度(6) 意思決定システム(7) 情報システム
(3) 教育活動	(8) 目標の設定(9) 教育方法・評価等(10) 成績評価・単位認定等(11) 資格・免許取得の指導体制(12) 教員・教員組織
(4) 学修成果	(13) 就職率(14) 資格・免許の取得率(15) 卒業生の社会的評価
(5) 学生支援	(16) 就職等進路(17) 中途退学への対応(18) 学生相談(19) 学生生活(20) 保護者との連携(21) 卒業生・社会人
(6) 教育環境	(22) 施設・設備等(23) 学外実習・インターンシップ等(24) 防災・安全管理
(7) 学生の受入れ募集	(25) 学生募集活動(26) 入学選考(27) 学納金
(8) 財務	(28) 財務基盤(29) 予算・収支計画(30) 監査(31) 財務情報の公開
(9) 法令等の遵守	(32) 関連法令、設置基準等の遵守(33) 個人情報保護(34) 学校評価(35) 教育情報の公開
(10) 社会貢献・地域貢献	(36) 社会貢献・地域貢献(37) ボランティア活動
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

教員からの一方向的な講義で知識を覚えるのではなく、学生たちが主体的に参加、仲間と深く考えながら課題を解決する力を養うのを目的としたグループワークなどを実施した方が良いと意見を受け、教員研修の実施や実習などを計画から実施するまでをグループで一貫して行い、作品は卒業制作展に出展するなど、今後の学生指導、カリキュラムの設定に反映させる。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成28年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
森 健介	順天堂大学 非常勤講師 (元白梅学園高等学校副校長)	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日(1年)	学校関連
金子 英明	日本工学院八王子専門学校 校友会会長 (セントラルエンジニアリング株式会社 グループマネージャー)	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日(1年)	卒業生/IT企業等委員
細谷 幸男	八王子商工会議所 事務局長	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日(1年)	地域関連
北尾 雄一郎	ジェムドロップ株式会社 代表取締役	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日(1年)	クリエイターズ企業等委員
今泉 裕人	一般社団法人コンサートプロモーターズ協会 事務局長	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日(1年)	ミュージック企業等委員
古木 勝紀	株式会社バンパー 取締役	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日(1年)	デザイン企業等委員
一瀬 康剛	株式会社アトム精密 代表取締役	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日(1年)	テクノロジー企業等委員
長畑 芳仁	NPO法人日本ストレッチング協会 理事長	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日(1年)	スポーツ企業等委員
石川 仁嗣	医療法人社団 健心会 みなみ野ハートクリニック 事務長	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日(1年)	医療企業等委員
榊原 直哉	八王子市私立保育園協会 (藤井保育園副園長)	平成28年7月1日～ 平成29年3月31日(9カ月)	医療・保育団体等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生、校長等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他()) 平成28年9月12日

URL: <http://www.neec.ac.jp/announcement/17332/>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

教育目標や教育活動の計画、実績等について、企業や学生とその保護者に対し、必要な情報を提供して十分な説明を行うことにより、学校の指導方針や課題への対応方策等に関し、企業と教職員と学生や保護者との共通理解が深まり、学校が抱える課題・問題等に関する事項についても信頼関係を強めることにつながる。

また、私立学校の定めに基づき「財産目録」「貸借対照表」「収支計算書」「事業報告書」「監事による監査報告」の情報公開を実施している。公開に関する事務は、法人経理部において取扱い、「学校法人片柳学園 財務情報に関する書類閲覧内規」に基づいた運用を実施している。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の現況、教育理念・目的・育成人材像、事業計画
(2) 各学科等の教育	目標の設定、教育方法・評価等、教員名簿
(3) 教職員	教員・教員組織
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職等進路、学外実習・インターンシップ等
(5) 様々な教育活動・教育環境	施設・設備等
(6) 学生の生活支援	中途退学への対応、学生相談
(7) 学生納付金・修学支援	学生生活、納付金
(8) 学校の財務	財務基盤、資金収支計算書、消費収支計算書
(9) 学校評価	学校関係者評価結果、平成27年度の項目別の自己評価表
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

URL: <http://www.neec.ac.jp/announcement/17332/>

授業科目等の概要

(芸術専門課程 レコーディングクリエイター科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・ 学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業 等との 連携
必修	選択 必修	自由 選択						講 義	演 習	実験・ 実習・ 実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			ビジネススキル1	仕事についての基礎知識などを養い、ビジネス能力を総合的に高めるためのトレーニングをします。	1・前	15	1	○			○			○	
○			ビジネススキル2		1・後	15	1	○			○			○	
○			ベーシックスキル1	音楽業界・放送業界で必要な専門知識の基礎を学びます。	1・前	15	1	○			○			○	
○			ベーシックスキル2		1・後	15	1	○			○			○	
○			キャリアデザイン1	自分の人生・キャリアについて、すべてに共通するポリシーとスキルを学びプランニングします。	1・前	15	1	○			○		○		
○			キャリアデザイン2		1・後	15	1	○			○		○		
○			ワークショップ1	クラス単位でライブ企画や制作プロジェクト、ボランティア活動、就職・進路指導などを行います。	1・前	15	1	○			○		○		
○			ワークショップ2		1・後	15	1	○			○		○		
○			プレゼンテーション1	資料のまとめ方、発表法などプレゼンテーションに必要な技法を学びます。	1・前	15	1	○			○		○		
○			プレゼンテーション2		1・後	15	1	○			○		○		
○			イントロダクション	新入生オリエンテーションと導入教育を行います。	1・前	120	8	○			○		○		
		○	資格対策講座1	ビジネス検定、MIDI検定、ラジオ・音響技能検定、JPPA、Pro Tools、イベント検定、Word・Excel検定などの資格受験対策講座です。	1・前	15	1	○			○		○		
		○	資格対策講座2		1・後	15	1	○			○		○		
		○	特別講義1	特別講師を招いた授業やイベントなどを開催します。	1・前	15	1	○			○			○	
		○	特別講義2		1・後	15	1	○			○			○	
		○	海外研修1	各学科の特色に基づいたプランで、本場のエンタテインメントを体感します。(研修先、行程は毎年異なります)	1・通	30	1			○	○	○			

	○	ボランティア1	社会貢献、地域貢献といった体験を通して自身も社会に関する喜びを得ていきます。	1・通	30	1			○	○	○		
	○	インターンシップ1	本校提携・協力関係の企業で行われる企業研修です。	1・通	30	1			○	○	○		
○		ベーシックスキル3	社会人になるにあたってのビジネスマナー、著作権等法規、音楽基礎知識、パソコンスキル、一般常識等、幅広く学習します。	2・前	15	1	○		○	○			
	○	ベーシックスキル4		2・後	15	1	○		○	○			
○		キャリアデザイン3	自分の人生・キャリアについて、すべてに共通するポリシーとスキルを学びプランニングします。	2・前	15	1	○		○	○			
	○	キャリアデザイン4		2・後	15	1	○		○	○			
○		ワークショップ3	クラス単位でライブ企画や制作プロジェクト、ボランティア活動、就職・進路指導などを行います。	2・前	15	1	○		○	○			
	○	ワークショップ4		2・後	15	1	○		○	○			
	○	資格対策講座3	ビジネス検定、MIDI検定、ラジオ・音響技能検定、JPPA、Pro Tools、イベント検定、Word・Excel検定などの資格受験対策講座です。	2・前	15	1	○		○	○			
	○	資格対策講座4		2・後	15	1	○		○	○			
	○	特別講義3	特別講師を招いた授業やイベントなどを開催します。	2・前	15	1	○		○			○	
	○	特別講義4		2・後	15	1	○		○			○	
	○	海外研修2	各学科の特色に基づいたプランで、本場のエンタテインメントを体感します。(研修先、行程は毎年異なります)	2・通	30	1			○	○	○		
	○	ボランティア2	社会貢献、地域貢献といった体験を通して自身も社会に関する喜びを得ていきます。	2・通	30	1			○	△	○	○	
	○	インターンシップ2	本校提携・協力関係の企業で行われる企業研修です。また、内定企業で行われる長期研修です。	2・後	420	14			○	○	○		
	○	キャリアゼミ1	専門分野の教員が進路指導を行うゼミです。	1・後	15	1	○		○	○			
	○	スポーツ実習1	レクリエーションを兼ねた短期のスポーツ実習を行います。	1・通	30	1			○	△	○	○	
	○	英語	日常会話から始まり、海外研修で使える程度までを学びます。	1・前	15	1	○		○		○		
○		ラーニングステージ1	グレード試験とその対策授業です。	1・前	30	2	○		○	○			
○		ラーニングステージ2		1・後	30	2	○		○	○			
○		ミュージックジョブ1	音楽業界、音楽に関連した職業につくための知識を幅広く学習します。	1・前	30	2	○		○			○	
○		ミュージックジョブ2		1・後	30	2	○		○			○	

○		スコアリーディング	基本的な音楽理論や譜面を読む力を育成します。	1・前	15	1	○			○			○	
○		ステージシステム1	舞台、ホールの機構、音響などを学びます。	1・前	15	1	○			○			○	
○		ステージシステム2		1・後	15	1	○			○			○	
○		サウンドシステム1	マイクロホン、ミキサー、レコーダーなど様々な音響機器の原理、機能、システムや電気音響回路の基礎について学びます。	1・前	15	1	○			○			○	
○		サウンドシステム2		1・後	15	1	○			○			○	
○		サウンドミキシング1	音の三要素など音の物理的性質から收音技術やミキシング技術を学びます。	1・前	15	1	○			○			○	
○		サウンドミキシング2		1・後	15	1	○			○			○	
○		Pro Tools 演習1	Pro Tools101資格に必要な専門知識を学びます。	1・前	15	1	○			○			○	
○		Pro Tools 演習2	Pro Tools110資格に必要な専門知識を学びます。	1・後	15	1	○			○			○	
○		基礎演習	スタジオワークに必要な基礎を学びます。	1・前	45	1	○			○		○		
○		専攻演習1	専攻ごとに必要な知識を学びます。	1・後	30	1	○			○		○		
○		Pro Tools 実習1	Pro Tools101資格に沿った実習を行います。	1・前	45	1			○	○			○	
○		Pro Tools 実習2	Pro Tools110資格に沿った実習を行います。	1・後	45	1			○	○			○	
○		ビジュアルシステム1	テレビ方式、タイムコード、各種映像機器の基本原理や機能、システムについて学びます。	1・後	15	1	○			○			○	
○		ベーシックプロダクト	スタジオワークの基礎となる実習を行います。	1・前	90	3			○	○			○	○
○		ミュージックソフトプロダクト1	専攻ごとに専門的な実習を行います。	1・後	90	3			○	○			○	
	○	プロジェクト1	学生委員会やワークショップなどで計画したプロジェクトや自主コンサート、学外活動などを行います。	1・通	30	1			○	○			○	
	○	キャリアゼミ2	専門分野の教員が進路指導を行うゼミです。	2・前	15	1	○			○			○	
	○	キャリアゼミ3		2・後	15	1	○			○			○	
	○	スポーツ実習2	レクリエーションを兼ねた短期のスポーツ実習を行います。	2・通	30	1			○	△	○	○		
	○	ミュージックジョブ3	音楽業界、音楽に関連した職業につくための知識を幅広く学習します。	2・前	30	2	○			○			○	
	○	ミュージックジョブ4		2・後	30	2	○			○			○	

○		ラーニングス ページ3	グレード試験とその対策授業です。	2 ・ 前	30	2	○			○		○	
	○	ラーニングス ページ4		2 ・ 後	30	2	○			○		○	
○		作品研究 1	レコーディングの名作とされた過去の有名 作品を聞き、その良さとは何かを分析し、 音のプロとしての耳を鍛え自らも素晴らし い作品を制作する事を目指します。	2 ・ 前	15	1	○			○			○
	○	作品研究 2		2 ・ 後	15	1	○			○			○
○		サウンドシス テム3	マイクロホン、ミキサー、レコーダーなど 様々な音響機器の原理、機能、システムや 電気音響回路の応用について学びます。	2 ・ 前	15	1	○			○			○
	○	サウンドシス テム4		2 ・ 後	15	1	○			○			○
○		サウンドミキ シング3	音の三要素など音の物理的性質から收音技 術やミキシング技術を学びます。	2 ・ 前	15	1	○			○			○
	○	サウンドミキ シング4		2 ・ 後	15	1	○			○			○
○		マスタリング	マスタリングに必要な知識を身につける。	2 ・ 前	15	1	○			○			○
	○	ビジュアルシ ステム2	テレビ方式、タイムコード、各種映像機器 の基本原理や機能、システムについて学び ます。	2 ・ 前	15	1	○			○			○
○		Pro Tools 演 習3	Pro Tools上位資格に必要な専門知識やDAW についてを学びます。	2 ・ 前	15	1	○			○			○
○		専攻演習 2	専攻ごとに必要な知識を学びます。	2 ・ 前	30	1	○			○			○
○		Pro Tools 実 習3	Pro Tools上級資格に沿った実習を行いま す。	2 ・ 前	30	1			○	○			○
○		ミュージック ソフトプロダ クト2	専攻ごとに専門的な実習を行います。	2 ・ 前	90	3			○	○		○	○
	○	プロジェクト 2	学生委員会やワークショップなどで計画し たプロジェクトや自主コンサート、学外活 動などを行います。	2 ・ 通	30	1			○	○		○	
	○	カレッジプロ ジェクト	学生委員会、ワークショップなどで計画し たプロジェクトや自主コンサート、ボラン ティア活動などを実行します。	2 ・ 通	30	1			○	○		○	
	○	卒業制作	専攻ごとに作品制作実習を行います。	2 ・ 後	240	8			○	○			○
合計					77	科目		2520	単位時間	(118	単位)		

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業時に必修科目1275時間(73単位)取得および選択科目を450時間(22単位)以上取得し、合計1725時間(95単位)以上取得すること (留意事項)		1 学年の学期区分	2 期
		1 学期の授業期間	15 週

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。